

「さんふらわあ7」による皆既日食と小笠原クルージング

佐藤 由美

3月15日23時 細かい雪の散らつく神戸港をあとに、さんふらわあ7(8,000t)は小笠原父島に向けて出航した。

翌々日の17日、朝7時、父島の二見港に入港。はしけにて上陸。上陸直後は雨がぱらついてたが、次第にお天気も回復してきて夕方船に乗る頃には日焼けした顔も見られた。17時、再び船は夕日に染まる海をさらに南へ向け出発した。

その夜、天気状況と日食観望地点の説明会が行われた。それによると、低気圧による前線がのびていて、朝方ぱらついた雨は、温暖前線の通過によるものだったそうだ。そして今度は寒冷前線がゆっくりと東に進んでくるという。それを避けるためには「とにかく南へ。」ということだった。ここで提案されたコースは、10時までには北緯 $22^{\circ}30'$ ～ $22^{\circ}31'$ の海域に達し、さらに方向をかえ、真西から真東に船を走らせ、ちょうど皆既帯の中心で皆既食を見るところのものであった。

説明会のあとサンデッキで星座観望会が開かれた。デッキの照明を消し目が慣れてくると、そこには満天の星空が広がっていた。皆、次の日の天気には期待を持ったのではないかと思う。夜おそくには、南十字星も見ることができた。

さて、いよいよ3月18日。朝、船中に「天気、晴れ。」といううれしいアナウンスが流れた。

船は17.5ノットで走り続けていた。

また、だいぶ南下していたのでデッキでは気温が30℃以上もあった。船内放送で、日射病に対する注意があり、各デッキへの移動がはじまった。

日食観測のために、さんふらわあ7のすべてのデッキが開放されたが、やはり船の上のこと、スペースが限られてしまうので、三脚使用者には1人あたり約 1m^2 の場所が抽選によって割りふられた。(デッキにガムテープを貼って区切った場所に番号がふってあって、自分のひいた番号に対応する所が観測場所となった。)肉眼観望者は日食グラスが配付され、肉眼観望者専用のデッキと三脚使用者のデッキのあいだ所での観望となった。

当日、晴れとはいっても、雲一つない、というわけではなかった。その雲を避けるために船は南へ走り続けた。9時42分部分食がはじまってもなお船はたびたび方向をかえた。インストラクターの先生方は頭を悩ませていた。船の進路について意見が真っ二つにわかれていたそう。なかなかまとまらず、ついに10時22分船長さんに全権を一任することになった。そしてその結論とは……

「東向きにこだわるな。船を西向きに走らせよ。」

このブリッジでの模様は一つのドラマのようだったという。

このようにして私たちは16日予行演習をした時とは正反対の位置に太陽を見ることになった。

皆既20分前より船内放送でカウントダウンが行われた。あたりはだんだんと薄暗くなってきて、いよいよ皆既だ、という時、うすい雲が太陽の前面をよぎり、一瞬どよめきがおこったが、そのあとは雲にかくされることもなく、無事皆既食を観測することができた。11時01分06秒から11時04分35秒まで3分29秒間。三脚にカメラをのせた人たちはパシパシシャッターをきっていた。特にダイヤモンドリングの時はシャッターをきる音が、まわりの歓声と同様に、いちだんと増していた。この皆既食の観望地点は北緯 $22^{\circ}14.50'$ 東経 $141^{\circ}02.00'$ 、中心帯より約6Kmの地点であった。船の速度は観望地点付近で11時01分までは約10ノット、11時02分からは約6ノットだったそうだ。波の高さはあまり気にしていなかったが、船のゆれとしては少なかつたのではないかと思う。私は7倍の双眼鏡で見っていたのだが、全体の航路のうち、方向をかえる時以外は太陽が双眼鏡の視野からはみ出ることは決してなかった。それから風についてだが、皆既5分前に風がパタと止んだ、という参加者の話があった。また本影すいを見た方はいたがシャドーバンドを見た人はいなかったようだ。

デッキでは皆既食が終わると、さきほどまでの緊張はなく、のんびりしたムードになり、記念写真の撮影なども行われた。

さんふらわあ7でこの素晴らしい皆既日食を見た人は455人いたという。

皆既食を観測して12時30分船は再び潮ノ岬に向けて北北西に進路をとった。

18日夜、船の進路についての大決断をされた船長さんに対する感謝と皆既日食観測大成功を記念してパーティーが開かれた。そこでは当日参加者が撮影したビデオも放映され、私たちは再び感動にひたっていた。

また、この日の夜は日食観望のために避けてわざわざ南下していったというその寒冷前線による黒雲の中に突入し雨の中、船はいちだんとゆれが大きかった。

その後、さんふらわあ7は順調な航海を続け、3月20日15時予定より1時間早く神戸港に着岸した。